

「電腦商店街で模擬買い物体験 ネットショッピングをしよう」

— ネットショッピングの長所と注意事項を理解する —

新潟県佐渡市立松ヶ崎中学校教諭 齋藤芳和

事例の 位置付け	実施学年	◎第3学年	☆第3学年
	教科等	社会科	☆家庭科
	単元名	私たちの暮らしと経済	

ねらい

- 1 身近なものや事例を取り上げ、消費生活についての興味・関心を高める。 【関心・意欲・態度】
- 2 商品購入の際の適切な判断力を身につける。 【思考・判断】
- 3 ネットショッピングにおいて、個人情報を守るための方法を身につける。 【技能・表現】
- 4 情報化社会における商品購入の利便性や危険性、問題点について理解する。 【知識・理解】

展開の特色

- 1 授業の特色
 - ① ネットショッピングを模擬体験させる。
 - ア 体験ソフトの活用
 - イ ネットショッピングHPへのアクセス
 - ウ メールを活用
 - ② 家庭科との関連を図る。
 - ア 重点単元としてのクロスカリキュラム(指導計画)の作成
 - イ ゲストティーチャー(GT)としての家庭科教師の授業参加
 - 2 金銭・金融教育の観点
 - ① ネットショッピングを取り上げる意義
 - ア 生徒の実態から
 - ・ ネットショッピングが未経験の生徒がほとんどであること。
 - ・ 体験や作業を通してでないと、理解が難しい学習内容であること。
 - イ 地域の実態から
 - ・ 店舗販売の少ない地域であること。
 - ・ 生徒は本やCDの購入をするために休日に出かけていること。
 - ・ バス代が高く、効率的な金銭の活用を考えれば、ネットショッピングが有効な商品購入手段となり得ること。
 - ウ 社会情勢から
 - ・ 情報化社会の進展にともないネットショッピングが有効な商品購入手段となり得ること。
 - ・ 消費者として将来に向けてネットショッピングの利便性と問題点を知り、その知識を身につけておくことは、生徒にとっても有益であること。
 - エ 教材の発展性から
 - ・ ネットショッピングを活用する際、セキュリティやクレジットの仕組み、契約などの問題を考えざるを得ないので、学習活動の発展性があること。
- 以上のような理由で、ネットショッピングの学習と模擬体験をさせるべきだと考えた。

② 金銭教育の観点

- ア インターネットによる商品取引の急激な伸びとさまざまなトラブルから
 - ・ ネットショッピングを取り巻く社会情勢について考えさせること。
- イ ネットショッピングによる個人情報漏洩の危険性とその問題把握から
 - ・ 個人情報を守るための方法を身につけさせ、その態度を育てること。
- ウ ネットショッピングにおける「契約」から
 - ・ 情報を送ったり、選択をしてクリックをしたりするという行為そのものが重大な自己決定、自己責任であることに気づかせること。
 - ・ その行為に対して権利が発生し、責任と義務が同時に求められることを理解させること。
- エ 「賢い消費者」の育成から
 - ・ 本の購入をインターネットで行うことは賢いかどうか生徒に判断させて、発表させること。
 - ・ 金銭的な思考や判断をする場面を意図的に設定すること。

構成

「私たちの暮らしと経済」 全13時間

- 第1次 家計の働き(2時間)
- 第2次 適切な商品選択・商品購入・購入手段(8時間) <本時5/8>
- 第3次 消費者保護(2時間)
- 第4次 消費者の自覚(1時間)

事前の準備

- ・ 「電腦商店街」のダウンロード、購入物品の選定

次時の予告、用意

- ・ 受注確認シート(メール打ち出し)

評価の観点

- 1 消費生活について興味・関心が高まっている。 【関心・意欲・態度】
- 2 商品購入の際に適切な判断ができる。 【思考・判断】
- 3 ネットショッピングにおいて、個人情報を守ることができる。 【技能・表現】
- 4 情報化社会における商品購入の利便性や危険性、問題点について理解できる。 【知識・理解】

memo・注

本時の展開

	学習内容	学習活動
導入 (8分)	① ネットショッピングの体験	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットショップ HP にアクセスして購入希望物品を探す。 ・購入希望物品をカートに入れ注文の最終段階まで進む。 ・このまま注文して何も問題がないか考える。
	② ネットショッピングの現状 ③ ネットショッピングをする際の注意点 ・「電腦商店街」での模擬体験 ④ 注意点の発表 ⑤ ネットショッピングの利点	<ul style="list-style-type: none"> ○付箋で隠されたグラフのタイトルを予想する。 ・被害が増加しているのはなぜか、被害とはどのような被害なのか疑問をもつ。 ○「電腦商店街」HP のやり方を理解する。 ・「電腦商店街」HP を指定された時間でまわり、ネットショッピングをする時の注意点をさがす。 ・ワークシートに注意点を記入する。 ○「電腦商店街」HP をまわって分かったことを発表する。 ・グラフ B の伸びについてゲストティーチャー (GT) の解説を聞く。
展開 (37分)	⑥ 本をネットショッピングで購入することは賢いことか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに問題を書き写す。 ・利点と注意点・問題点を比較検討し、ペアで判断する。 ・賢い、賢くないの結論を述べ、理由を発表する。
	まとめ (5分)	⑦ 本時の学習を振り返る。

本時の目標 ネットショッピングを行う際の注意点を理解し、商品購入の際の適切な判断力を身につける。

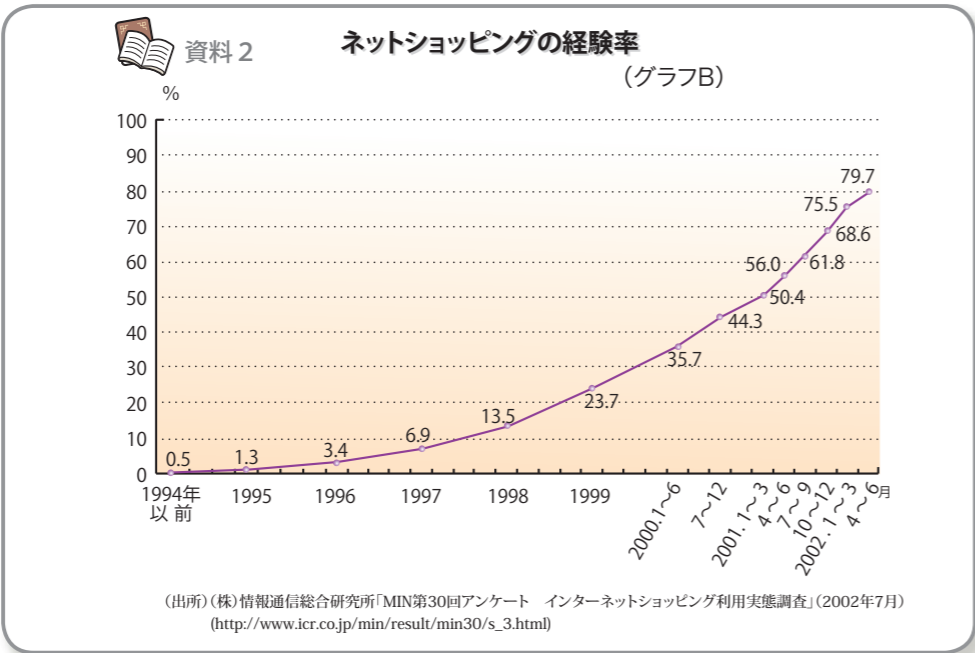
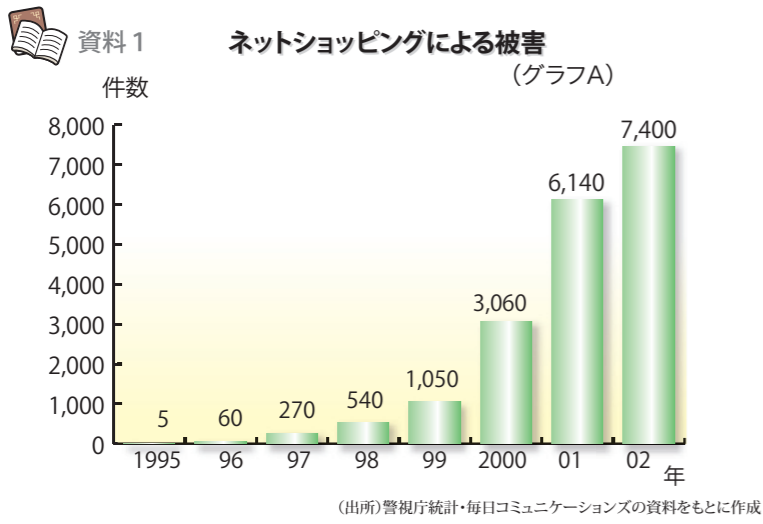
教師の支援、指導上の留意点	資料
<ul style="list-style-type: none"> ・ネットショップ HP へのアクセスの仕方、購入物品検索等の補助を行う。 ・メールアドレス等の掲示。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>※注文の最終クリックに達したら教師を呼ぶように指示しておく。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットショップ HP
<ul style="list-style-type: none"> ・グラフ A：ネットショッピングの被害件数のグラフを提示する。 ・安易なクリックをすると被害を受けることに気づかせる。 ・課題を模造紙で提示する。 ・「電腦商店街」HP の使い方を説明する。(時間・まわる 店等) ・机間巡視し、やり方の分からない生徒を支援する。 ・各ペアに注意点を発表させ、出された意見を黒板に書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ネットショッピングの被害」資料 1 (→ p.256) ・「電腦商店街」HP ・ワークシート (→ p.257) ・「ネットショッピングの経験率」資料 2 (→ p.256)
<ul style="list-style-type: none"> ・資料を模造紙で提示する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>※家庭科で学習した無店舗販売の利点の復習</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・フラッシュカードを準備しておく。 ・黒板に書いた利点と問題点を確認させ、考えるヒントにさせる。 ・ホワイトボードに出された意見を書く。 	
<ul style="list-style-type: none"> ・ネットショッピングと佐和田町の本屋へ買いに行った場合の金額の差、消費者のネットショッピングへの動向等を紹介する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「1,500 円の本を購入する場合」資料 3 (→ p.256)

参考資料 教材研究する上で参考にしたものは、以下のホームページである。

- ☆ 国民生活センター (<http://www.kokusen.go.jp/>)
- ☆ 消費者教育支援センター (<http://www.consumer-education.jp/>)
- ☆ 東京都消費生活総合センター (<http://www.shouhiseikatu.metro.tokyo.jp/>)
- ☆ 警視庁 (<http://www.npa.go.jp/safetylife/kankyo3/akusyou.htm>)
- ☆ (株)情報通信総合研究所 (http://www.icr.co.jp/info/press_j.html)
- ☆ ネットショップHP

授業で用いたネットショッピング体験教材『電腦商店街』は、以下の通りである。

インターネット・ショッピング体験教材ソフトウェア 「電腦商店街」
 ©2001 IPA, CEC Eスクエアプロジェクト「ネット社会の歩き方」(<http://www.cec.or.jp/net-walk/>)よりダウンロード
 このサイトは、情報処理振興事業協会 (IPA)、財団法人コンピュータ教育開発センター (CEC) が実施した E スクエア・プロジェクト先進企画部門で最優秀賞を受賞した「ネット社会の歩き方」の成果を公開している。



資料3 1,500円の本を購入する場合

ネットショッピング		書店(佐和田町)	
商品	1,500円	A:バス使用	
配送・手数料	0円	商品	1,500円
代引き手数料	250円	消費税	75円
消費税	88円	バス代(往復)	1,890円
合計	1,838円	合計	3,465円
		B:自家用車使用	
		商品	1,500円
		消費税	75円
		ガソリン代(税込)	603円
		・多田~佐和田町書店 片道 約24.5km	
		・1リットルで10km走行可能として計算	
		・ガソリンは1リットル=115円	
		合計	2,178円

ワークシート

公民ワークシート

ネットショッピングで気をつけることは何か?

氏名 _____

課題1 バーチャルネットショップ『電腦商店街』をまわり、ネットショッピングを行う時、注意することをあげてみよう。

☆『電腦商店街』では、水星電腦商店、木星商店を先にまわる。
時間があれば他の店も体験する。

- ネットショッピングをする時は _____。
- ネットショッピングをする時は _____。
- ネットショッピングをする時は _____。
- ネットショッピングをする時は _____。
- ネットショッピングをする時は _____。

課題2

自分の考え	[理由]